

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (文学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	柳田 忠則
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 大和物語の研究			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教授	妹尾 好信
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	久保田 啓一
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	小川 恒男
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	二松学舎大学	教授	山崎 正伸
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、著者が長年研究してきた『大和物語』に関する諸論考を、既刊の3冊の著書（『大和物語の研究』〈平成6年 翰林書房〉・『『大和物語』の研究』〈平成12年 私家版〉・『物語文学の生成と展開—伊勢・大和とその周辺—』〈平成31年 新典社〉）から精選し、再構成して一書に成したものである。もちろん再録にあたっては補訂が加えられており、さながら40年以上に及ぶ『大和物語』研究の足跡を現時点から俯瞰するような趣がある。</p> <p>全部で25編の論考を収め、テーマによって4章に分けている。</p> <p>第一章は、「大和物語の伝本」と題し、7編の論考を置く。まず、『大和物語』の伝本状況を略述し、研究史を概観する。その上で、特色ある伝本として、伝為氏筆本、鈴鹿本、日本大学図書館蔵本、三条実起筆本の4本を個別に取り上げ、各本文の実態を詳述する。加えて、一部の伝本が持つ特異な章段群、いわゆる附載説話について、特に第二類と呼ばれる説話の本文を詳細に検討する。</p> <p>第二章は、「大和物語の創作性」として、10編の論考から成る。『大和物語』の創作性・虚構性についての探究は、著者が最も精力的に取り組んできたテーマであり、本論文においてもこの章が中心的な位置付けとなる。戦後間もなく益田勝実氏が「歌語り」という概念を提唱して以来、『大和物語』は創作的な作品ではなく、巷間に行われていた歌語りを集録したものであるという理解が定説化しているが、著者はそれに異を唱え、『大和物語』の中には作者の創作が加えられている話も相当数あると見て、さまざまな章段を取り上げてその創作性・虚構性を論じている。共通話を載せる他文献との徹底的な比較を基盤とした緻密な論述には説得力があるが、編纂物である『大和物語』に創作性があることはむしろ当然とも言えよう。</p> <p>第三章は、「大和物語の構成」と題して4編の論考を置く。『大和物語』は流布本で173の章段から成るが、作者はどのような意識でそれらを配置しているのかを検討する。著者は、連想による章段配置という視点からいくつかの章段群を取り上げて構成意識を探っている。単なる類話や人物の共通による連想ではなく、ある核となる章段を中心にして前後に対照的な配列となるように章段を配置しているという指摘は独自性に富む。諸説ある前半と後半の分け方についても、構成意識という観点から見ると第141段から後半と捉えるべきだという説も注目に価する。ただ、作品分析の視点としては「構成」というより「構造」という方がふさわしいようにも思われる。</p> <p>第四章は、「大和物語の注釈」と題し、4編の論考から成るが、前半の2編は、作中の和歌と地の文の表現についての読解研究であり、後半の2編は、甲斐侍従筆『大和物語追考』と日本大学図書館蔵『大和物語鈔』という2つの注釈書の本文状況と意義を詳細に論じたものである。注釈的研究と注</p>			

釈史の資料研究が同居していて、やや落ち着かない章であるが、これも著者が手がけてきた『大和物語』研究の広範さ、多彩さを示すものであろう。

このように、本論文は、歌物語の代表的作品として並び称されながらも、『伊勢物語』に比べて質量ともに大きく引けをとると言わざるを得ない『大和物語』の研究状況の中で、数少ない専門研究者として学界を牽引してきた著者の豊穡な研究成果を凝縮したものである。作者想定や成立過程論といったダイナミックな推論は意識的に避け、丹念な本文の調査や精緻な比較を通して論証するストイックな研究姿勢は高く評価されてしかるべきである。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)